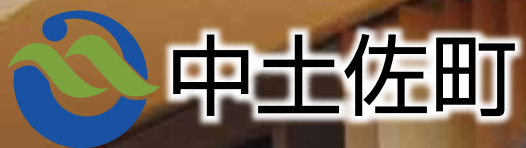


議会だより



No.72

令和6年2月7日発行

12月定例会

9月定例会第1回臨時会議



■12月定例会（通常会議） 2

議案審議 2

一般質問（9人が町政を問う） 3

■9月定例会第1回臨時会議 2

町民の運動機会向上の活動をしている地域おこし協力隊員の金丸慎平さん。（P18参照）

かなまるしんぺい

12月定例会

案議
議審

令和5年12月定例会が8日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

12日と13日は一般質問(P3から関連記事)が行われ、9人の議員が町の課題を執行部に問いました。15日には議案の審議が行われ、町長提出の議案11件を可決、同意8件(教育委員会委員1件、農業委員会委員7件)を同意し、散会しました。

12月定例会の会期は、12月8日から令和6年2月29日までの84日間です。

一般会計補正予算

「令和5年度中土佐町一般会計補正予算(第5号)について」は、1億8851万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を78億7179万円とするもの。

主な予算は、園芸用ハウス整備事業費補助金1113万円、久礼漁協への貸付金600万円、黒

潮本陣の防火設備改修工事費375万円など。
質疑では、1人の議員が計上された予算に対し、執行部に説明を求めた。
討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

町の一般職員の給与と条例の改正

「中土佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について」は、国の人事院勧告に準拠して一般行政職の給与を引き上げるもの。若年層で月額千円程度から1万2千円の増となる。合わせて、期末手当の支給率も引き上げることから町長、副町長、教育長で計10万円の増、町議12人で計13万円の増となる。
質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

町立診療所設置条例の改正

「中土佐町立診療所設

置条例の一部を改正する条例について」は、現在、休止している矢井賀診療所の廃止と上ノ加江診療所の上ノ加江スポーツ文化センターへの移転に伴う住所変更を行うもの。
質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

財産の無償貸付の変更

「財産の無償貸付についての議決の一部変更について」は、町から旧上ノ加江中学校を無償で借り受けて「上ノ加江集学校」を運営しているリングロー(株)が、新たに設立する一般社団法人おかえり集学校へ事業を譲渡することに伴い、無償貸付の議決の一部を変更するもの。
譲渡後の事業内容に変更はない。
質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

令和5年 中土佐町議会 9月定例会 第1回臨時会議

案議
議審

11月2日、令和5年9月定例会第1回臨時会議が行われました。町長提出の一般会計補正予算など議案3件を可決し、散会しました。

一般会計補正予算

「令和5年度中土佐町一般会計補正予算(第4号)について」は、1510万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を76億8328万円とするもの。
主な予算は、集会施設省エネ改修事業費515万円、上ノ加江診療所移転工事費800万円など。

質疑では、1人の議員が集会施設の改修予算に対し、補正予算で計上する理由や内容について、執行部に説明を求めた。
討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

久礼小学校校長寿命化改修工事請負契約の締結

「中土佐町立久礼小学校校長寿命化改修工事請負契約の締結について」は、建築後40年以上が経過した建物を改築するため、ミタニ建設工業(株)と6億7980万円で契約するもの。
質疑では、1人の議員が設計の審査体制について執行部に説明を求めた。
討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

9人の議員が一般質問



中野 大地 ……P4

- 子育て支援センター「はぐ」の有効活用を
- 防犯カメラの増設を



下元 道夫 ……P5

- 産業の振興と少子化対策は
- 避難所のトイレ、ごみ処理対策は



高橋 雄造 ……P6

- なかとさ防災フェスタの成果は



山本 建生 ……P7

- コロナワクチンで体調不良は
- 孤独死・自殺防止対策は



下元 良之 ……P8

- 町のデジタル化の状況は
- 耕作放棄地対策は



窪田 和教 ……P9

- 保育士をめざす人に奨学金制度を
- 天満宮前川のヨシの除去を



金子 裕之 ……P10

- 産業・観光振興は
- 若い人に好まれる集合住宅を



濱田 和昭 ……P11

- スポーツ文化センターの解錠方法は
- 特急列車が利用できる通学補助の拡充を



佐竹 敏彦 ……P12

- 少子化対策にどのように取り組むか
- 産業としての農業化に向けプロジェクトチームで取り組み



一般質問 町政を問う

12月12日と13日の2日間、一般質問が行われ、9人の議員が子育て支援、防災対策、産業や観光など、町の諸問題を取り上げました。

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

※掲載する「一般質問」は、議員の責任で質問・答弁を750字以内にまとめたものです。



各議員のページにあるQRコードで、その議員のインターネット中継をご覧ください。ご覧にならない場合は、データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合、高額請求される場合がありますのでご注意ください。

子育て支援センター「はぐ」の有効活用を



中野 大地

来年度から体制を改め、検討していく



中野議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問 こどもセンターにある、子育て支援センター「はぐ」の親子の広場開設時間の延長を求める声があるが可能か。

辻本健康福祉課長 利用時間のほとんどが午前中に集中している。今後、利用者の増加や時間延長を要望する声が増えてくれば検討する。

問 就学している兄や姉がいる場合、連れて行けずに困っていると言っている声がある。違う年代の子どもが安心安全な遊べる場所の確保も必要では。

辻本健康福祉課長 原則は乳幼児の安全を優先し利用制限を設けている。乳児健診や育児相談に対象年齢外のきょうだいが来所したときは、あったかふれあいセンターや園庭などで遊ぶように案内している。

問 町内に雨の日に遊べる施設がないということで休日開所を望む声もある。

る。支援センターを有効活用できないか。

池田町長 子育ての多様なニーズに応じていくために、来年度からこどもセ

ンターの体制を改め検討していく。



子育て支援センター「はぐ」で交流する親子

防犯カメラの増設を

必要性も踏まえ関係機関の意見も聞いていく

問 防犯カメラは、犯罪の抑止や行方不明者の捜索にも役立っている。防犯カメラの増設は。

岡村教育長 安全で安心して暮らせるまちづくりの実現には大きな役割を果たす。一方で設置する場合は場所を十分検討する必要がある。子ども見守りカメラの増設の必要性は学校や関係機関などの意見を聞いていく。

問 久礼駅への防犯カメラ設置は。

今橋まちづくり課長 今後、久礼駅の活用、町の活性化を含め検討していく中で、防犯カメラなどの必要性や設置についてはJRとも協議した上で検討していく。

大谷選手寄贈のグローブ

問 大谷翔平選手から寄贈されるグローブの活用方法は。

岡村教育長 各学校の規模が違うので、学校の方で有効な活用方法を検討していただく。必要であれば一定数の買い足しも考え。使わずに飾ることのないよう指導していく。



安心安全なまちづくりに大きな役割を果たす防犯カメラ

産業の振興と少子化対策は

さらに踏み込んだ対応が必要だ

問 昭和30年の旧中土佐町と旧大野見村の人口は1万5780人だったが、令和5年11月末の人口は5959人で人口減少と高齢化が進んだ。町の活性化なくして少子化対策は難しい。農業振興策として、(株)土佐くろしお村「村営みのり」を活用できないか。

要請した。

問 小型かつお船は4隻となり乗組員の高齢化が進んでいる。餌代、燃油代の高騰、船と製氷施設も老朽化している。存続の

ために今一番必要なのは漁業者と腹を割って話し合うことではないか。

池田町長 漁民の皆さんと膝を交えて話をし、踏み込んだ対応が必要と感じている。

問 観光産業と商工業の課題と取り組み、大正町市場の駐車場対策は。

今橋まちづくり課長 黒潮

本陣の売り上げは前年度比約3割程度増、道の駅は順調に集客が回復している。大正町市場は県内外の観光客が訪れている。満車となる駐車場は関係機関と検討していきたい。商工業の後継者問題が大きな問題だ。手だてを見いだしたい。

山崎農林水産課長 本町でも受注していただくよう



下元道夫



下元議員の録画映像は
◀◀◀ **こちらから**



厳しい寒さの中、土佐沖で釣り上げた鯉1.7tの水揚げ
(12月26日久礼漁協)

避難所のトイレ、ごみ処理対策は

簡易トイレの設置、清掃組合の処理は可能だ

問 被災時の避難所のトイレ、ごみ処理対策は。

平田総務課長 約5千回使用可能な大型トイレを整備していきたい。

中島地区道路改良は

問 久礼中島の道路改良工事が遅れているが。

黒石町民環境課長 清掃組合のごみ処理施設は津波の影響は受けないので、地震の被害による復旧を行い再開すれば対応は可能と考えている。しかし、道路の状況が問題となってくると考えている。

窪田建設課長心得 清水川線の約100mの幅員極小部分の拡張計画をしたが、令和4年7月の台風による豪雨に氾濫の恐れが確認されたので設計の修正を発注した。令和6年度に住民の理解をいただき工事に移りたいと考えている。



道路幅員が狭いため拡幅予定の町道清水川線(久礼中島)

なかとさ防災フェスタ の成果は

高い評価を得た

問 なかとさ防災フェスタは、今までのような定型的な訓練でなく、楽しく見学できる訓練を行った



高橋雄造



高橋議員の録画映像はこちらから▶▶▶



防災フェスタの会場で展示されていたシャワー設備のあるトレーラー
(道の駅なかとさ)

と聞いているが来場者は。

平田総務課長 来場者は、600人から700人程度だ。

問 成果と総括は。

平田総務課長 20代から40代の方に防災に興味を持っていただくような内

容の準備を進め、多くの方から高い評価を受けた。出展者から提供された最新情報で防災意識を高めるとともに、町の取り組みも理解いただけたと考えている。

問 シャワー設備が装備されたトレーラーが展示されていたが、災害時、避難生活を余儀なくされた

とき生活する上において困ることの代表的なものは何と認識しているか。

平田総務課長 トイレ、シャワー、衣食住、特にプライバシー空間を持った避難所を重点に考えなければと思う。

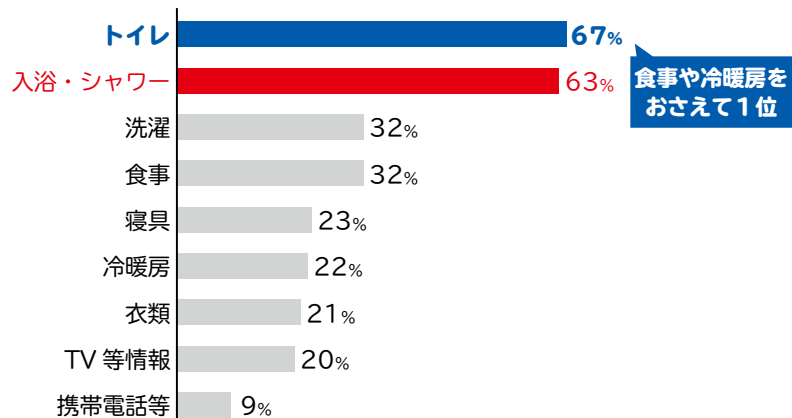
問 被害に遭い困ったときに助けになるのが十分な資機材だ。不足している物は何か。

平田総務課長 避難所に必要な資機材は、県内でもトップレベルの量で確保できている。不足しているのは、資機材を活用するための知識とノウハウと考えており研修などを今後とも進めていきたい。

問 避難生活で初期に困るのはシャワー設備であるのは、過去の被災地でのアンケートでも出ている。いざというときの資機材として用意する必要はあるのではないか。

(熊本地震避難所で生活する方に聞きました)

地震直後に、避難所で不便に思ったことは何ですか？(複数回答)



出典：「熊本地震避難所アンケート」学校のトイレ研究会調べ(2016)

池田町長 災害時住民の皆さんが一番困るのは、トイレとかシャワーであることは承知しており必要と思っているが、来年度整備することにはならないと思う。

問 次年度の整備計画は。

平田総務課長 タオルケット、タオルなど夏季の避難に備えた資機材と衣類の備蓄を検討している。動くシャワー室には興味を持っており、整備を考えている。

コロナワクチンで体調不良は

重篤な症例の報告はない

問 本町のコロナワクチン接種率は65歳以上男性で47.6%、女性46.9%だが、12歳から64歳までの男性は16.1%、女性18.4%になっている。接種率をどう見るか。

沿った接種を実施し、情報も伝えてきた。最終的にはご自身の判断に委ねた。

問 ワクチン接種による死亡は国内で800人といわれるが、医者はおもった多いと言っていた。本町で接種による体調不良、死亡者はないか。

辻本健康福祉課長 接種による、死亡者数、関連死も今のところ不明です。体調不良については、初期のころ行政によく電話をいただいたが、町内の医師からその後重篤な症例の報告は上がっていない。

辻本健康福祉課長 厚生労働省の指導で全員に接種機会を提供できるようにやってきた。ワクチン接種に賛否があることは認識している。国の方針に

基準日 令和5年11月30日（令和5年12月5日抽出）

令和5年秋開始接種（※）の年齢・男女別

	乳幼児		小児		12～64歳		うち65歳以上	
	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率
男性					226	16.1%	593	47.6%
女性					242	18.4%	787	46.9%
計	0	0%	0	0%	468	17.2%	1,380	47.2%

※対象者：初回接種（乳幼児は1～3回目、5歳以上は1・2回目）を終了し、前回の接種から3カ月経過した方
※令和5年9月20日以降、追加接種は1人1回

接種回数別

	全 体		うち高齢者		うち小児接種		うち乳幼児接種	
	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率
総接種回数	25,086	-	15,685	-	118	-	0	-
うち1回目接種	5,453	91.5%	2,820	96.4%	51	23.3%	0	0%
うち2回目接種	5,428	91.1%	2,809	96.1%	48	21.9%	0	0%
うち3回目接種	4,722	79.2%	2,724	93.2%	17	7.8%	0	0%
うち4回目接種	3,676	61.7%	2,452	83.9%	2	0.9%	0	0%
うち5回目接種	2,745	46.1%	2,108	72.1%	0	0%		
うち6回目接種	1,872	31.4%	1,657	56.7%	0	0%		
うち7回目接種	1,190	20.0%	1,115	38.1%				

孤独死・自殺防止対策は

見守りなど関係団体が一体で取り組む

問 令和元年から令和5年11月までの孤独死は8人、自殺は5人となっている。孤独死は全員男性で、自殺は男性3人、女性2人となっている。担当課としてどう考えるか。

辻本健康福祉課長 孤独死の数は行政などが発見し警察が確認したもの。死後数日たつて見つかるケースは最近は少ない。地域の見守りが大事と考えており、関係機関・団体が一体となって孤独死、自殺対策に取り組む。

耐震診断や工事は

問 耐震診断、設計は50%余りを町外業者がやっている。しかし耐震工事の施工は64%を町内業者がやっている。耐震診断、設計も地元業者がやる方策はないか。

平田総務課長 町が発注するのでなく補助金で個々が契約するのでそこまで関与できない。

その他の質問

補助対象の選択要件は

自殺者

	R1	R2	R3	R4	R5
男	1	0	1	0	1
女	0	1	1	0	0
合計	1	1	2	0	1

孤独死（1人暮らしで亡くなり、行政・社協が発見したケース）

	R1	R2	R3	R4	R5
男	3	1	0	2	2
女	0	0	0	0	0
合計	3	1	0	2	2

*データとして集計しているものはなく、行政・社協で聞いたもの



オラレ
ON LINE

下元議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



町のデジタル化の状況は

住民目線に立って検討 していく

問 バスパス事業にマイナ
ンバーカードを使用する
実証実験を始めたが、利
用状況は。

今橋まちづくり課長 コ
ミュニティバスの利用率
は11月で75%になってい
る。路線バスはまだ把握
していない。

問 バスパス使用を現時点
でどう考えるか。

今橋まちづくり課長 現時
点では順調にいつている
と考えている。ただ、技
術的なことを踏まえ、活
用の仕方を進化させる必
要があると考えている。

問 マイナ保険証について
の見解は。

黒石町民環境課長 重複す
る投票の回避や、医療費
が若干安くなるなどのメ
リットがある。町は今の
ところマイナ保険証の特
に推奨していることはな
く、今後は政府の点検結
果を見て判断したい。

問 住民への防災情報やイ
ベント情報などの発信に

LINEの導入を検討し
ては。

平田総務課長 町のホーム
ページ管理システムに機
能を追加する形でシステ
ム更新を行い、LINE
と連携した情報発信がで
きる仕組みに取り組んで
いる。

問 紙媒体の、A4コピー
用紙の使用量は。

平田総務課長 総務課の購
入量は2020年が82万
枚、21年が112万枚、
22年が106万枚となっ
ている。

問 デジタル化について総
合的な構想は。

平田総務課長 最新の情報
を収集し、住民目線に
立ったサービスの利便性
向上や、産業部門におい
ても検討していきたい。

耕作放棄地対策は

国・県と協議しながら対策を 進めたい



増えゆく耕作放棄地

問 耕作放棄地が増加し、
さまざまな弊害が懸念さ
れるが対策はないか。

山崎農林水産課長 建設業
など異業種の参入につい
ては、労働力不足という
課題もあるが、国・県の要
項に合致すれば支援でき
る。地域おこし協力隊の
採用についても再度検討
したい。また、(株)土佐くろ
しお村「村営みのり」の本
格進出なども考えたい。

池田町長 水稲から果樹な
どへの転用など、多方面
での活用も考えられる。
担い手の確保も国や県と
協議しながら進めたい。

その他の質問

大野見の米



ON LINE

窪田議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから

保育士をめざす人に 奨学金制度を

町単独では難しい

家庭の状況が考慮される余地がなくなるのでは。

岡村教育長 開所時間は一定定めている。保護者のニーズは毎年変わるもので保育所に相談してほしい。対応は可能と思う。

問 保育士資格をとるために短大・専門学校に進む生徒に返済不用の奨学金制度ができないか。

多田教育次長 町単独の支援制度は難しい。国・県の無利子貸し付けを利用してほしい。

問 フルタイムで働く会計年度任用職員を確保すべきだ。保育士の待遇が仕事の中身に見合うものになっていない。保育士の待遇改善が必要だ。

多田教育次長 以前に確認したらフルタイムでなく今の勤務条件が良いということで続けている。待遇改善は他の自治体の条件も踏まえて確認させていただく。

天満宮前川のヨシの 除去を

必要があれば検討する

問 奈路天満宮キャンプ場前の河原はヨシが繁茂して狭くなっている。テントを張る場所が取りにくくなっているほか、ヨシを避けて通らなくていけない。町の貴重な観光資

源だが、ヨシを撤去して気持ち良く使ってもらうことはできないか。

今橋まちづくり課長 必要であればそういったことも検討したい。

問 小鎌田の浜は四季を通じてキャンプを楽しむ人がいる。町には魅力ある所がある。そこに少し手を入れるだけで町外から来た人を温かく迎えることができるし、印象を良く



図書室のコピー機が利用できるようになりました
(図書室の入文化会館)



ヨシが多くなり河原が狭くなった。夏には多くの人が川遊びを楽しんでいる(奈路・天満宮前の四万十川)

今橋まちづくり課長 訪れた人に気持ちよく過ごしていただき、口コミなどで広げていただくことは重要と考えている。

図書室のコピー機 使用可能に

問 図書室を利用する方のコピー機使用の検討の結果は。

多田教育次長 コピー機の使用は可能とさせていた



産業・観光振興は

解決すべき課題が多いが検討する



金子議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問 1月、2月は観光資源が少なく、観光客が少ない時期となる。この時期の対策は。

山崎農林水産課長 販路を見込んだ商品開発には解決すべき課題が多い。有望品目の導入、費用対効果も含め検討する。

問 休耕田や耕作放棄地は農業者だけでは解決できないと思うが、そういった農地を活用した商品開発と企業誘致をしてはどうか。



As a reason made by atmospheric natural conditions when the sun rises on the ocean horizon reflecting the sun shadows and creating a mirror-shaped line on the sea. This phenomenon is called "Dokusai Asahi" (Dokusai Sun Rise) in Japan. "Dokusai" is a Zen point of lucky charms loved by Japanese.

The 3 conditions necessary to see the "Dokusai Sun Rise" (Dokusai rising sun) are as follows:
1) During winter when the temperature difference between the surface of the sea and the underlayer is large.
2) Clear day which the horizon of the sea is visible.
3) When the ocean mist is strong.

外国人観光客向けに英語表記された道の駅なかとさのホームページ

今橋まちづくり課長 町独自の戦略的発信には至っていない。食や伝統、文化を説明できる看板やパンフレットなどを英語表記し、ＩＴ機器の導入など必要な対策を進めていく。

今橋まちづくり課長 気風やだるま朝日などこの時期ならではの観光資源を生かした取り組みを進めていく。

問 外国人観光客を多く見かけるようになった。情報発信が大切だと思うが。

若い人に好まれる 集合住宅を

整備を進めていく

問 町営住宅は半数以上が築30年以上経過し長寿命化の対象となっている。少子高齢化や人口減少など、時代のニーズに合った施策が求められると思うが。

を防ぐためにも少人数世帯用の住居の必要性は高い。

問 民間の力を借りて集合住宅を建設するなどの対策が必要と思うが。

中学校の部活動は

問 少子化によって部員が集まらない部活動が増えることが予想されるが対策は。

岡村教育長 部活動改革検討委員会を立ち上げ、地域移行などあらゆる可能性を含め議論し、来年度末には、一定の方向性を決めた。

問 町内の事業所は後継者不足と人手不足に悩んでいる。若い人に好まれる住宅が必要ではないか。

平田総務課長 令和3年3月に公営住宅等長寿命化計画を策定し、事業実施一覧を令和12年度まで作成している。今後もこの計画に沿って実施していく。

池田町長

町が建てて民間に経営してもらうなど、いろいろな方を検討しながら、若い人に住みたいと思っただけの住宅整備を進めていく。



建設から40年以上経過した町営住宅（大野見奈路）

スポーツ文化センター の解錠方法は

スマートロック導入を 検討中だ

【問】上ノ加江スポーツ文化センターを利用するには役場か上ノ加江公民館での手続きが必要で、土日に利用する場合は前もって鍵を借りなければならず不便だ。施設の解錠方法の改善は。

【多田教育次長】施設の玄関に暗証番号で開くスマートロックの導入を検討中だ。現在リングロー社と

設置可能かを含め、設置費用や管理費などを協議中だ。

【岡村教育長】町のホームページや回覧で周知しているがまだ不十分だ。町内は広報に掲載するが、町外への周知は今後検討したい。

【問】体育館は一般の球技大会や高校の部活で利用されていたが浸水被害やコロナ禍により使用制限されていた。今後どのように活用を周知していくか。

【問】上ノ加江診療所の移転によってジム施設利用者の増加が見込まれる。女子トイレの洋式化と多目的トイレの便器交換の検討は。

【多田教育次長】今の使用状況であれば十分と認識している。今後関係者や利用者の意見を聞き、検討する。



濱田 和昭



オンライン
濱田議員の録画映像は
こちらから



上ノ加江診療所が併設される上ノ加江スポーツ文化センター

特急列車が利用できる 通学補助の拡充を

平等性・公平性を念頭に判断する

【問】高知市などの学校に通う高校生は部活や塾などで帰宅時間が遅くなる。勉強時間を確保するため睡眠時間を削っている。そのことから、家族で町外へ転出する事例も聞く。特急列車が利用できるよう補助の拡充ができないか。

【多田教育次長】部活動を行う生徒のみの助成は難しいが、今後の状況により、高等学校の通学助成自体の拡充については検討したい。

【問】移住定住を勧めている



高知方面へ向かう特急列車(土佐久礼駅)

が、子育てしやすい町として選ばれるには、通学ハンディを減らす施策や支援策も大きなアピールではないか。

【池田町長】何よりも平等性、公平性を念頭に置きながら子ども・子育てに關して特段の財政的な支援も含めて教育委員会を主軸にまちづくり課と施策を検討し総合的な判断のもと決定したい。

その他の質問

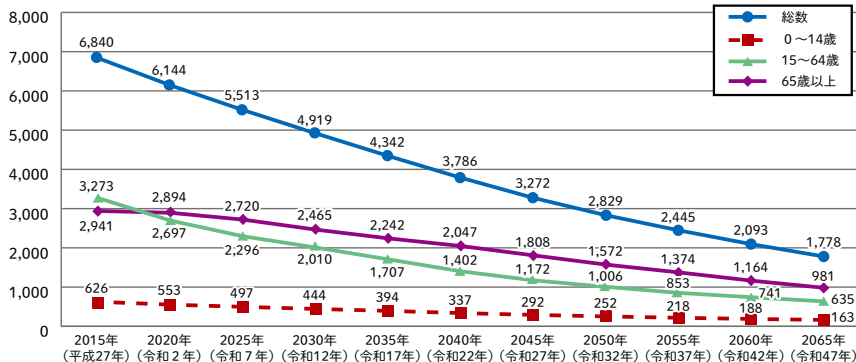
▼旧久礼分校のグラウンドの活用



佐竹議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



パターン1 出生率向上2.07 (国目標)	合計特殊出生率	2015(平成27)年 1.40 2020(令和2)年 1.80(国民の希望水準) 2025(令和7)年以降 2.07(人口置換水準)
	社会移動	趨勢値(社人研推計準拠)



国の目標水準2.07まで合計特殊出生率を上げて、2030年には5,000人を下回る。

平成28年の町の人口ビジョンのデータ。現行の合計特殊出生率ではこの数値以上の人口減少が起きている

少子化対策にどのような取り組みが

女性の声に耳を傾け、真摯に取り組む

問 知事選の出口調査では人口減少、少子化対策への期待は高い。知事は少子化対策と絡め、中山間振興に不転の決意で臨むと表明した。新年度に、どのように取り組むか。

池田町長 言うは易し行ふは難しだが、今の状況に寄り添い、しっかりと行政を運営していく。

問 水飲み場まで馬を連れて行くことはできるが、水を飲むことはできない。当の女性たちが産む、産まないという中で、産んでいただく、そういうことを条件整備していくしかない。そういう点で女性の視点が重要だ。

産業としての農業化に向けプロジェクトチームで取り組み

本課で全力で取り組む

池田町長 他市町村に比べ女性幹部の登用は多く、女性職員からいろいろ話も聞く。そういったことを大切に、女性の声に耳を傾け、真摯に取り組む。

問 農業は知事も基幹産業と位置付けしており、伸び代がある産業分野だ。今までは補助金行政で、産業としての農業を成り



日本人は古くからコメを主食に選びました。実りある田んぼは地域の宝です

立たせていくという農業行政ではなかった。今後、どのように展開するのか。

池田町長 やる気のある若者に農業に従事してもらい、お金だけではない精神的な満足感が得られるような農業形態も目指すべきではないかと思う。

問 農業問題は、農林水産課だけで対応できる問題ではない。プロジェクト

チームで対応策を考えていただきたい。

山崎農林水産課長 現状では、本課で全力で取り組む。プロジェクトチームは、今後、検討したい。

その他の質問

- ▼町のグランドデザイン
- ▼上ノ加江集学校と上ノ加江小、学校教育
- ▼地域と社協

委員会活動報告

12月定例会の初日、総務教育、産業建設民生の各常任委員長、少子化対策特別委員長から、委員会の活動報告がありました。

総務教育常任委員会

保育給食 久礼小の改修 工事とタブレットを調査 食材の確保は各課で連携を



久礼小学校のタブレットを使用した授業を視察する
総務教育常任委員（10月23日）

久礼保育所の給食数は145食で、メフォス社に委託している。大野見保育所は25食で、町営で行っている。県内産食材活用率は年2回調査しているが、町内産食材活用率は出せていない。アレルギーの理解を深める取り組みを話し合い、除去食の対応できる部分は検討する。町内産食材、有機食材の納入については、教育委員会だけではなく、農林水産課などと連携をとり、子どもたちが安心して食べられる食材を確保するための取り組みを改めて提案した。

久礼小学校の長寿命化改修工事に伴い、学童保育が移転してくる。現在の施設が浸水区域にあることから関係者と協議し、移転することになった。

タブレットは、全年でほぼ毎日活用している。5年生の授業では、真剣に学習する様子を見せていただいた。

産業建設民生常任委員会

大野見の県道改良計画 菱高精機(株)を調査 町は継続的に注視を



菱高精機(株)を調査する産業建設民生常任委員
(10月31日大野見吉野)

県道窪川中土佐線の大野見吉野跡川地区の改良計画の場所と大野見移転後の菱高精機(株)の現状を調査した。

県道改良計画の区間は、大野見トンネルより大野見側出口から約300mの地点から跡川地区の町営住宅前までの約1200mで、高低差は53mあるとの説明を受けた。現在、現地測量を行っている。町は県に積極的に協力することだ。

次に、大野見移転後の菱高精機(株)の生産の状況は、移転後2カ月間は生産できなかった部分があつたが、10月に故障していた設備が全て復旧している。町内からの従業員は全体の64%となっている。工場責任者から、今後も魅力ある企業にしていきたいために頑張っていく、との話を聞いた。

町には、継続的に注視していくよう求めた。

移住の現状などを調査

二十歳の方に

アンケートを行う

第4回・第5回委員会を開催し、移住の現状などについて調査した。今後の調査・研究のためのアンケートを令和6年1月2日に開催される「二十歳を祝う会」に出

席される二十歳の皆さんに行う予定だ。11月20日には、日高村議会から3人の議員が視察に來られて情報交換を行った。



移住について議論をする少子化対策特別委員
(11月10日)

池田町長の行政報告

令和6年度予算編成方針

「目指すまちの姿」の実現に向け取り組む

●令和6年度の予算編成方針

第3次総合振興計画に掲げる「目指すまちの姿」の実現に向け、少子高齢化・人口減少問題や南海トラフ地震対策、地場産業の振興など、喫緊の課題に取り組む。とりわけ、人口減少問題については、取り組みを継続しつつ、施策の見直しとブラッシュアップを図っていく。

●防災対策

10月に、自主防災会を主体に「町内一斉避難訓練」を開催した。また、道の駅で2日間「なかとさ防災フェスタ」を開催した。今後もイベントを通じた啓発活動を行っていく。

●第1回中土佐町ファンイベント

11月11日、東京で「第1回中土佐町ファンイベント」を開催した。30人の参加者に、町の自慢の食材を使った料理や地酒を振る舞い、魅力をアピールした。

●地域おこし協力隊活動報告

11月29日、協力隊員の活動報告会が開催された。地域のコミュニティを保つことが困難となる中、隊員の活動はその問題解決の糸口になると考える。

●美術館移転に向けたワークショップ

美術館の認知度を高めるため、通常の展示会に加えて館外での活動を行っている。とりわけ、久礼八幡宮の境内で行われた「神社の杜のびじゅつかん」は出色のイベントだった。高知大学とのコラボでは、地域の人や自然などに着目してポスターを制作した。

●アニメ「海に沈んだ鬼」

双名島の鬼伝説が日本財団の「海ノ民話のまちプロジェクト」に採択され、現在アニメの制作を行っている。来年2月頃には完成上映会が行える予定だ。町を全国にPRしていくツールのひとつとしたい。



12月定例会で行政報告をする池田町長

私は、賛成 反対 しました。

○…賛成 ●…反対 /…議長は賛否同数のときや特別多数議決のときに賛否を表明します

《9月定例会（第1回臨時会議）の主な議案と議員の賛否》

議 員 名	窪田和教	岡伊三男	下元良之	高橋雄造	金子裕之	濱田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	福永守恭	中城重則	可否
審議した議案等													
補正予算													
令和5年度中土佐町一般会計補正予算(第4号)について(※P2参照) ※1,510万4千円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ76億8,328万7千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度中土佐町介護保険特別会計補正予算(第2号)について ※3万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億3,036万4千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他													
中土佐町立久礼小学校長寿命化改修工事請負契約の締結について(※P2参照) ※ミタニ建設工業株式会社と6億7,980万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

《12月定例会（通常会議）の主な議案と議員の賛否》

条例の一部改正・廃止													
中土佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について ※地方税法及び健康保険法施行令の改正に対応するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中土佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について(※P2参照) ※給与条例改正に伴うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中土佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について ※給与条例改正に伴うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中土佐町立診療所設置条例の一部を改正する条例について(※P2参照) ※中土佐町立診療所設置条例改正に伴うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
中土佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について ※内閣府令等の改正に伴い条例を改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算													
令和5年度中土佐町一般会計補正予算(第5号)について(※P2参照) ※1億8,851万1千円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ78億7,179万8千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度中土佐町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について ※19万4千円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ11億1,703万3千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度中土佐町介護保険特別会計補正予算(第3号)について ※606万1千円を増額し、歳入歳出予算をそれぞれ13億3642万5千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度中土佐町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について ※水道事業費用11万9千円増額し1億4,427万8千円とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他													
津野山養護老人ホーム組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について ※介護サービスの一部を令和6年3月末に廃止することに伴い規約を変更するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償貸付についての議決の一部変更について(※P2参照) ※貸付の相手方を「一般社団法人おかえり集学校」に変更するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教育委員会の委員の任命について(濱田貴代氏) ※濱田貴代さんを再任するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
農業委員会の委員の選任について ※岩本隼夫さん、政岡富生さん、山岡正治さん、政岡妙さん、政岡直文さん、下元和恵さん、西岡英男さんを選任するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

Q 議員は何をしゅうが？

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況（令和5年10月1日～令和6年2月4日）》

議 員 名		窪田和教	岡伊三男	下元良之	高橋雄造	金子裕之	濱田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	福永守恭	中城重則
日 付 ・ 会 議 等													
10月3日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△
10月12日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△
	少子化対策特別委員会	△	○	○	△	○	△	△	△	○	○	△	△
10月13日	四国地区町村議会研修会(徳島市／JRホテルクレメント徳島)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
10月23日	総務教育常任委員会	△	△	○	△	△	○	○	○	△	○	○	△
10月26日	トップセミナー（高知市／県民文化ホール）	●	△	△	○	△	●	△	△	△	○	○	○
10月30日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△
10月31日	産業建設民生常任委員会	○	○	△	○	○	△	△	△	○	△	△	○
11月2日	9月定例会第1回臨時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	△	△	○	△	△	△	△	△	○	○	△
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月13日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	△
11月17日	市町村議会広報研修会（高知市／自治会館）	●	△	○	○	○	●	△	△	○	△	△	△
11月10日	少子化対策特別委員会	△	○	○	△	○	△	△	△	○	○	△	△
11月20日	少子化対策特別委員会	△	○	○	△	○	△	△	△	○	○	△	△
12月6日	議会運営委員会	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	○	△
12月8日	12月定例会通常会議＜1日目＞	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
12月12日	12月定例会通常会議＜2日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月13日	12月定例会通常会議＜3日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	△
12月15日	12月定例会通常会議＜4日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月28日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	△	△	△	●	△	△	△
1月9日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	●	△	△	○	△	△	△
1月22日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	△
1月28日	地方議員研究会研修	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△
1月30日	少子化対策特別委員会	△	○	○	△	○	△	△	△	○	○	△	△
2月1日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 ／・・・所属委員等でない



四国地区町村議会研修会
(10月13日徳島市JRホテルクレメント徳島)



北海道鹿部町からの視察受入「南海トラフ地震
対策について」(10月25日)

《議長の主な活動状況（令和5年10月1日～令和6年2月4日）》

●10月

- 8日 コスモスまつり（越知町／宮の前公園）
- 12日 高知県町村議会議長会理事会（高知市／自治会館）
- 15日 第18回大野見しんまいフェスタ
- 16日 全国議長会前会長葬儀（新潟県湯沢町）
- 21日 笹場・上ノ加江・矢井賀地区敬老会
- 25日 中土佐町戦没者追悼式
北海道鹿部町議会視察受入（挨拶のみ）
- 27日 こうち人づくり広域連合・高知県後期高齢者広域連合定例会（高知市）
- 29日 令和5年度高陵消防連合演習



大野見しんまいフェスタであいさつをする中城議長(10月15日)

●11月

- 1日 令和5年度高知県戦没者追悼式（高知市／県民文化ホール）
- 3日 上ノ加江地区民運動会
- 13日 第56回（令和5年度第2回）全国過疎地域連盟総会（東京都／日本教育会館他）
- 22日 こうち人づくり広域連合・高知県後期高齢者広域連合監査（高知市）
- 28日 高幡町村議会議長会第50回臨時総会（東京都／都市センターホテル）
県選出国会議員との意見交換会（東京都／ホテルルポール麹町）
- 29日 議長会全国大会議長研修会（東京都／NHKホール）
- 30日 第17回高幡町村議会議長会県外研修
（茨城県美浦村/役場）



中土佐町戦没者追悼式で追悼のことばを述べる中城議長(10月25日)

●12月

- 2日 上ノ加江小学校学習発表会
- 5日 高知県町村議会議長会理事会・役員会忘年会
- 20日 高幡広域市町村圏事務組合臨時会の打ち合わせ
- 22日 津野山養護老人ホーム組合議会
高陵特別養護老人ホーム組合議会
高幡広域市町村圏事務組合議会臨時会
高幡消防組合議会第160回定例会

●1月

- 2日 二十歳を祝う会
- 14日 消防出初め式
- 22日 高知県町村議会議長会打ち合わせ
- 30日 高知県町村議会議長会臨時理事会
（高知市／自治会館）



二十歳を祝う会であいさつをする中城議長
(令和6年1月2日)



全国過疎地域連盟による鈴木総務大臣への要請活動
に出席した中城議長(11月13日)



出初め式であいさつをする中城議長
(令和6年1月14日)

(今号の表紙)



今号までのテーマは「中土佐町の生業」でしたが「地域おこし協力隊」が新たに着任したので今号では隊員の活動を取り上げます。

町民の運動機会向上のために活動をしている金丸慎平さんです。

A 1 **ご出身は。**
福岡県北九州市です。

2 **地域おこし協力隊になった動機は。**

きっかけは日本体育大学の先輩で地域おこし協力隊OBの松下昇平さんとの出会いです。

トレーニングジムを作りたいと思っていた時に、地域の方と関わりを持つことでより地域に根付くような施設が作れるのではないかと考えました。

A 3

活動の内容は。

ミッションは町民の方の運動機会向上で、現在の活動内容は小学生の運動機会を作るために週に一度、放課後に行っているシーズンスポーツクラブと町民の方と運動をスポーツ文化センターで行っているカラダづくり教室を行っています。今後については運動のできるイベントごとを計画し地域の

A 4

中土佐町の魅力は。

自然豊かなところだと思っています。海も山も川もあり、空気が澄んでいます。中土佐町の住民の方にとっては普通かもしれないませんが、これほど日常から自然に触れられることはすごく貴重だと実感しています。

皆さんと一緒に運動をできたらいいなと思っています。

金丸さんとは協力隊として着任してすぐ、あいさつをする機会がありました。はにかみながら、真つすぐに私の目をみて自己紹介をしてくれたことが印象的でした。持ち前の、人当たりの良さで協力隊として励んでほしいです。

濱田 和昭



卒業生からのひと言

まずは自分自身がワクワクする企画を考えてほしいです！
そのワクワクが周囲の方に伝わった瞬間が協力隊という仕事の魅力だと思います。



七面鳥をはじめとする地元産品を販売する傍ら、町のスポーツ振興監として地域や学校のスポーツ活動の支援をしています。

松下昇平さん



昭和30年、旧中土佐町の人口は1万1747人、旧大野見村は4033人、合計1万5780人だった。

令和5年11月末現在、旧中土佐町は5009人、旧大野見村は950人、合計5959人となった。高齢化率も49%。人口減少と高齢化、若い子育て世代も極端に減少している。12月22日、国立社会保障人口問題研究所は2050年の推計人口を発表した。中土佐町の人口は、58%減の2646人であった。あらためて、この町でどう暮らしていくかを、住民とともに膝をつき合わせ考えていくと決意した。

久礼漁協のカツオ加工施設に張ってあった一枚のポスターを思い出した。

全ては
漁師が誇りをもって
黒潮の魚群を
追い続けるために
俺の子も
俺の孫も

下元 道夫

中土佐町議会広報広聴常任委員会

委員長	窪田 和教
副委員長	下元 良之
委員	高橋 雄造
委員	金子 裕之
委員	濱田 和昭
委員	中野 大地